

## 地域との意見交換会（ワークショップ）結果（清水小校区）

開催日	平成 23 年 8 月 27 日（土）14 時～16 時
開催場所	清水小コミセン
参加市民	15 名
テーマ	【議題 1】地域の自慢について 【議題 2】地域の自慢を活かし地域の活力に変えていくために、①行政、②自治会、③住民の三つの立場に立ってそれぞれどのような役割があるのか

ーワークショップ中の皆さんの様子ですー



アイスブレイキングの様子



グループに分かれて意見を出し合いました



各グループから議論の内容が発表されました



◇各グループで考えた「地域の自慢」と「自慢を地域の活力に変えるための役割」

地域の自慢	自慢を地域の活力に変えるための役割
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 豊かな自然（瀬戸川、清水川、ため池、田畑、農作物（いちご・いちじく etc）、あぜ道、竹林、神社の社）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★行政の役割               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 実際に各地域に出向いて、行政が持っている知恵や情報を積極的に流す</li> </ul> </li> <li>★自治会の役割               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 住民と行政のパイプ役となる</li> <li>◇ 自治会同士の横のつながり、縦のつながりを大切にし、知恵と労力を供給する原動力となる</li> </ul> </li> <li>★住民の役割               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 情報を積極的に得る。その中で要望があれば自治会、行政に働きかける</li> <li>◇ まず自主的に地域を知るという姿勢に立つ</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 古い伝統文化が残っている（明石市無形文化財「オクワハン」、伝統の獅子、県文化財「五輪塔」）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★行政の役割               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 各地域へのきめ細かい目くばり、気くばり、心くばり</li> <li>◇ 伝統文化を広く市民に伝える</li> <li>◇ 地域活動費や伝統文化を守るための補助金や助成金を増額する</li> </ul> </li> <li>★自治会の役割               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 地域活動費の補助金を増額する</li> <li>◇ 祭りなどの参加者を増やすための広告などを作成する</li> </ul> </li> <li>★住民の役割               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 全員が行事に参加できるように広報活動、メール等で呼びかける</li> <li>◇ 祭り等、伝統の継承に努力する</li> <li>◇ 小学生への紹介を定期的に行う</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然が豊かで人間が大らか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★行政の役割               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 環境美化運動のための助成金を増額する（コスト削減、税金の運用の見直し）</li> </ul> </li> <li>★自治会の役割               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ポイ捨て防止等の清掃活動と呼びかける</li> </ul> </li> <li>★住民の役割               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 活動に参加し協力する</li> </ul> </li> </ul>

## ◇ファシリテーターによるまとめ



本日のワークショップではいくつかキーワードがあったと思います。

まずは「自治会の仲立ちがある」ということ、行政側からも、住民側からも、自治会を通して情報や要望などが発信されているようです。

また、これらの情報を「どうやって共有していくのか」というところも一つのテーマなのではないかと感じました。

これについてはまさに目くばり、気くばり、心くばりですね。いかに行政から住民側に情報を提供してい

くのか、そして得られた情報をどのように行政の中にフィードバックしていくのか、現在のところは自治会を通しているがそれだけでいいのかという点も、議論の必要があるかもしれません。

また、発表にもありましたが、地域の住民側も情報を得ようとする努力が必要である事、また、自治会の負担をどうやって住民や行政が減らし支えていくのかというお話も出てきました。

ぜひとも、今日出たようなご意見を委員会の中でもいかしながら、協働のあり方というものを探っていきたいと思います。